



RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会 長

関 正己

幹 事

漆原 慎子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委 員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

11月18日(金)のプログラム

地区職業奉仕委員会

成田空港南RC 富一美君

11月の例会予定

- 11月25日(ゲスト卓話)

千葉銀行総研 調査部

12月の例会予定

- 12月2日(ゲスト卓話)
元筑波大講師 カイザー氏
- 12月9日(クラブ年次総会)
- 12月16日(ゲスト卓話)
西原税理士
- 12月23日(休会)
- 12月25日(クリスマス家族例会)

会長挨拶 関正己会長



おかげさまで持ちまして、先週少しお話をしました、本クラブの重要事項でありました、次年度幹事が指名委員会を通過、先週の理事会にて承認されました。中村満氏本人は病氣から立ち直りながらも、まだまだ体調管理に打ち込んでいる最中、勇気に感謝いたします。

更に、本日の例会直前に勝浦ロータリークラブの慣例にならって、歴代会長経験者会議を行い、理事会に於いて決定しました50周年行事の実行委員長、並びに、実行副委員長の報告をしましたところ満場一致にて承認いただきました事を、ご報告いたします。

実行委員長：水野敬泰氏、実行副委員長：高梨薫敏氏です。

実行委員長には、早速次年度勝浦ロータリー50周年に向かって始動して頂きます。そして会員全員が実行委員長を支え、盛大に50周年行事の成功へと目指したいと思っておりますので宜しく願いいたします。

また、12月9日はクラブ年次総会です、この時に次々年度の会長(会長ノミニー、次年度幹事、7名の理事が選挙されます。先週の理事会で幹事に於いては承認を得ましたので、ぎりぎり間に合った感がいたします。理事については、細則にあります、慣例に従って、会長エレクトと指名委員会にお任せし、クラブ総会に持ち込こんでいただきたいと思います

さて、RIからクラブ。地区役員各位として2011-2012年度のクラブ目標に向けた活動に役立つようにと、RIカタログが送られてきました。このカタログには、会員増強、クラブ指導者の育成、地域でのロータリー推進に役立つ出版物や、資料が紹介されています。ご希望の方がおりましたら、幹事までお申し出ください。11月中は、皆様の奉仕に対する感謝の気持ちを込めて、「写真で見る活動の軌跡」を対象に25%割引を行っているとの事です。

話は余談になりますが、先週の理事会に、勝浦ロータリークラブがどんな事を行っているか、或いはRIがどんなことをしているかの宣伝ポスターを作ろうと提言いたしました。これはずっと以前、渡辺昌俊会員の言った一言が私の脳裏に焼き付いていたものを言った迄のことですが、理事会に於いて、5分区で同じスローガンにし、一緒に歩もうと成り、現在ガバナー補佐に取りまとめをお願いしているところです。先日、情報研究会で河原 地区財団委員長ともつながりができ、またガバナー補佐も河原氏と JC 時代からの旧知の仲で同年との事、これは絶対実現したいと思っています。

幹事報告 漆原摂子幹事

1. R財団より、詐欺メールの注意

「R財団東日本震災復興基金寄付」という件名で、「元気になる日本プロジェクト事務局」という差出人名より、健康サプリメントの販売のメールが出ましたが、RI・R財団とは一切無関係のメールなので、絶対に対応しないで下さい。

2. 鴨川RCより 例会変更の案内

12/13(火)は鴨川ユニバースホテルにて例会開催

12/20(火)はクリスマス家族例会 18:30点鐘。

12/27(火)は年末休会。

3. 館山RCより 例会変更の案内

11/30(水) 第5例会のため夜間例会 18:30点鐘
(オーバーヴィラージュにて開催)

12/21(水)はクリスマス家族例会 18:00点鐘。
(南房総富浦ロイヤルホテルにて開催)

12/28(水)、1/4(水)は年末年始休会

4. 館山ベイRCより 例会変更の案内

12/22(木) 家族例会 18:00点鐘
(一粒の麦にて開催)

1/5(木)年始のため休会

委員会報告

会員増強委員長 村石愛二君



会員増強委員会例会終了後開催します。ぜひ委員以外の方も参加をよろしくお願いします。

会員選考委員長 千葉正徳君



過日、IM実行委員会開催の文面の中で、11月24日(金)は木曜日の間違いです。

ニコニコBOX

本人誕生日

渡邊ヒロ子君



健康に1年を迎えることができるのはとても幸せなことだなあと考えております。坂本竜馬暗殺の日、生まれでございます。ケーキのろうそくでは、気の利いた甥っ子が「1」と「5」のろうそくを立ててくれました。もちろん、「1」「5」の順番に立てました。ありがとうございました。

配偶者誕生日

手塚明宏君



私事ですが、仕事柄仕事が終わるのが深夜で、それから片付けをやるので、寝るのが4～5時になってしまいます。家内と一緒に寝ていますが、後から入るとどうしても起してしまうので、女房が睡眠不足になってしまいます。そうならないよう早く寝るよう心がけたいと思います。

結婚記念日

齋藤豊久君



今日家を出る時に、女房に「今日は多分結婚記念日のお祝いがあるよ」と言われ、「いつだっけ」と思ったら、先週の土曜日でした。私はきれいに忘れていましたが、女性というのは、そういうのをしっかり覚えているんだと、改めて感心しました。

自主申告

中村満君



12月9日の年次総会には、(次年度の幹事の)承認をお願いいたします。

古川範男君



今挨拶に立たれた中村君と一緒に、50周年の会長幹事をやらせていただきます。よろしくお願い致します。

先だって、先週あたりに東京のサントリーホールで世界的なチェリストのヨーヨー・マの演奏会に行きました。普通であれば即日完売でチケットは手に入らないです。多分そうだろうなと思って行ったんですけども、そしてなんと、空気がすごく目立つんです。びっくりしました。それで、帰りの電車に乗ってよく見ていたら外房線の吊り広告がガラガラなんですね。政府の発表する景気指標はずっと間違っていたんですね。悪い事は全部外して良い事だけを見て、最近、それはいかんということで直したんだそうです。これから、より深刻な数字が出てくると思います。

今日本全体がうつむき加減になり、そして自分の事ばかり考えている、そんな時にこれはいかんということで中村君が立ちあがってくれて、勝浦ロータリークラブの救世主だと非常に思います。満干の思いを込めて、中村君にお礼を言いたいと思います。

西川佳璋君



先日、用事があって、ある方のお話を伺いました。大きな構造物、鉄橋や橋など大型な設計をされている方でした。その方、よくいろいろな話をしまして、結論的には震災後、立派に残った海の中の堤防もあるし、全く無残に崩れ去った堤防もある。きちんと残ってるものはよろしいんですけども、それと同じく、東京都内のウォーターフロントで高層建築がたくさんされていますがその建物が100%安全かどうかは私の設計能力からは言えないという、お話でした。そういう関係者がたくさんおられる中で言うのは大変恐縮なんですけれども、その設計をされている方は、そのようなお話をされていました。そこで結論ですが、いろいろ大きな建物、マンションを購入される場合には、ぜひ安全な施設をご購入くださることをお願い申しあげまして、「危険かな」と思うようなものはお避けになった方がよろしいんじゃないかという事でございます。

卓話【成田空港南RC】

地区職業奉仕委員 富一美君



只今ご紹介をいただきました、地区職業奉仕委員会の富と申します。所属は成田空港南ロータリークラブでございます。どうぞよろしくお願いたします。

まず始めに、今回の東日本大震災において被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

それでは、早速ロータリーの根幹である職業奉仕のお話をさせていただきます。

まず、ロータリーには事業の継続的な繁栄を願う職業奉仕理念としてシェルドンの提唱いたしました「He (One) Profits most who serves best」「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」というモットーがあります。

これはもう皆さん耳にタコができるほど聞いておられると思います。

少し、私達に馴染みやすいように日本語の格言で言いますと、「情けは人のためならず」中国の易経では、「積善の家には余慶あり」と言い換えることが出来ると思います。また、もっと馴染みやすい例えでお話をいたしますと、皆さん二宮尊徳翁の「謙譲の徳」という教を学校で習ったことがあるかと思ひます。

これはですね、「たらい(水桶)に水をいっぱい入れて、その水をこちらの方へ集めようとして、両手で寄せますと、隙間から水は向こうの方へ逃げてしまいます。ところが、向こうの方へ両手で水を押しやりますと、水は逆流してみんな自分のところへ寄って来ます。

つまり、取ろうとすれば物は集まりませんが、他に与えることによって、巡りめぐって自分のところへ戻ってくるという教でございます。

これは経済の根本原理でございます、さらには仏教でいうところのほどこし(布施)の精神を説いたものでございます。

実は、ロータリーでいう職業奉仕の神髄を明確に表現していると私は思います。

さてここで、新会員さんに分かりやすい様に、今回の東日本大震災で直接的に影響を受けておりますライフラインを取り上げて、極々身近な職業奉仕の事例としてお話をさせていただきます。

私達はこの日常生活の中で、生活には欠かすことが出来ない、ライフラインであります、水道、電気、ガス、通信というものを、当たり前のように使っていますが、その工程には大勢の人達が、私たちの暮らしを支え、そして幸せを祈りながらそれぞれの責任を果たすことによってそれを成し得ているわけでございます。

私のこの小さな腕時計も然りで、どの小さい部品でも一個壊れると時計ではなくなります。

そのように考えると使命感を持って責任ある仕事をしているということに、私たち職業人は誇りを持つことができると思います。

どのような仕事でも忠実に、一つ一つきちんとすることによって世の中が規則正しく流れていることがお分かりになると思います。

つまり、私たちは、自分の仕事に誇りを持ち、愛情を持ち、責任を持ち、職業を通じて社会に奉仕貢献する事が職業奉仕の大切なところに成ろうかと思ひます。

よくあるご質問の中に、ロータリー的に言いますと「職業を通じて社会に奉仕をする」と言われるけど、どうも、ちょっとそのあたりが今一つ理解がしづらいというご質問がよくございます。この辺のところをお話する前に、まず「職業」と言うものを今一度考えてみたいと思ひます。

皆さんご存知の通り、職業とは生業でございますよね。言うまでもなく生活の糧を得るものでございます。

ロータリーで言うところの職業奉仕の職業と言ひますのは、原文の vocational service の「vocation」でございます。これの意味するところは、一般的な単なる職業という意味にとどまることなく、日本で言うところの「天職」と言われております。これはですね、読んで字のごとく、天から与えられた職業の意味でございますが、それに加えまして、自分の職業に於いて、人々に幸せになって貰いたいと云う強い使命感を持って仕事に

従事し、仕事を通じて人々に喜びを与えようとする深い意味が含まれているものと思います。

ここで大事なポイントになって来るところが、まず、自分の職業を最高の職業で、周りの人達により尊敬を持って見られる天職だと思えるぐらいにレベルアップをすることが大切ではないかと思えます。

つまり、誠意を持って、誠実に公正に自分の職業に従事をすれば、おのずと社会が認めてくれるはずで、あのお店、あの企業は大変良心的で誠実だよと言うような評判が立てばですね、そのお店、その企業は長く安定した収益を求めることが出来るんじゃないでしょうか？これが、ロータリーが求める職業、或は職業観ではないかなと思えます。

次に、それでは職業奉仕とは何ぞやと言うことに成ります。つまり、言い方を変えますと、ロータリー的には「職業を通じて社会に奉仕をする」と云うことに成りますが、ここで大事なポイントが、先にお話したように、ロータリーで言う職業観を持って「自分の職業にどのような姿勢で取り組むのか？」ここが大事なところに成るんじゃないかなと思えます。

まず、より一層高度な「良心的、そして倫理観」を持ってご自分の職業を誠実に、忠実に、公正に行うこと。これによってですね、質の高められた職業といえますのは、地域社会の方々から尊敬と親しみを持って支持をされます。そして、その巧徳(功績、徳行)というものが、おのずから地域社会への奉仕になるといわれております。

今一度、新会員さんにわかりやすいように簡単に申し上げますが、自分の職業を天職と考えて、倫理的、道徳的に行動して、全ての関係者(顧客、流通業者、仕入先、従業員)に対して、誠意を尽くすことにより、喜ばれ、感謝されて、その結果として適正な報酬を得て、商売が繁盛し発展するという構図でございます。

これがロータリーの職業奉仕の原点ではないかなと思えます。

次に、話は変わりますが、先のお話のようにロータリーの職業奉仕論は、言わば、「商売の極意論」とも言えるのではないのでしょうか。たとえば、物の売買一つをとっても、私たちは、単に物としての商品売って、対価としての金銭を受け取るのではないと思えます。

一つの例といたしまして、お菓子屋さんのお菓子を取り上げた場合に、単にお菓子という商品売って対価として金銭を受け取るのではなく、「満足」という商品売って「感謝」という対価を受け取ると、ということだと思います。これが、商売の極意ではないでしょうか。

この様な観念に基づいて、相手の身になって商売をすること。これがですね、やがては世間から高い信用を獲得し、そして自分の事業を将来に亘って隆々と栄えさせるのではないかなと思えます。

さて、ここで話は変わりまして、職業奉仕に取って大切な職業倫理について少し触れさせていただきます。

私たちは、生きていく中で常に判断を迫られております。特にですね、経営者は些細な問題であっても、判断を一つ間違えば会社の存続に拘って来ます。

その時、人は往々にして損得を基準に判断をして誤ってしまうものでございます。私は、人間として正しいか正しくないか、良いことか悪いことか、というような正不正、善悪を判断基準にしてまいりました。

経営もですね人間が人間を相手にして行う営みでございますから、そこですべきこと、あるいはしてはならないことも、人間としての本当にプリミティブな規範に外れたものではないはずでございます。人生も経営も、人間を律する道徳や倫理に則しておこなわれるべきでございますし、また、その原理原則に従えば、大きな間違いをしなくてすむのではと思えます。

ガイ・ガンディンガーRI元会長は「ロータリー通解」の中で、ロータリーが他のクラブにない特徴としては、「主として教育的性格にあり、各会員の各自の職種に職業倫理向上の念を植え付けるべき義務を課する点にある」と言っております。そのようなことから、ロータリーは職業倫理の誠をつらぬくこと、つまり「4つのテスト」を実践することが、自分の職業の繁栄につながることを身をもって体験をし、実証して参りました。

ここで、新会員さんに心に強くとどめていただきたいことは、ロータリーは職業倫理を高揚することを重要視しており、これを見失うとロータリーで無くなるという事です。また、他の奉仕団体や人道団体とロータリーを明確に分ける違いというものは、「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」ところでございます。

我々が誇らなければならないのは、この世で職業奉仕と言うものを如何に世の中のために役立たせるのか。こういうことを主張する団体はロータリーだけでございます。

ロータリーの綱領に、「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、・・・とあります。」すなわち、私たち職業人の心に芽生えた慈愛の心や思いがロータリーであり、その気持ちを私たちの事業の基礎にせよと、ロータリーは私たちに求めていると思えます。

職業奉仕こそ、まことのロータリーらしさを表している奉仕部門であると信じております。

さて、昨年来、地区職業奉仕委員会は、ロータリーの綱領について説明をし、理解を深めていただくよう努めております。

それでは、お役目ですので、ここでロータリーの綱領について少しだけお話をさせていただきます。

先ほども申し上げました通り、ロータリーの奉仕の基本と申しますのは、職業奉仕にある。綱領の主文にある「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し育成する・・・」という部分は、一言で申し上げますと「ロータリーの目的は職業奉仕を推進することにある」といえまして、これほど明確にロータリーの本質を捉えているものは無いと思えます。

綱領は主文と後に続く4つの項目が並んでおります。そして、この4つの項目は、主文に於いて宣言されたロータリーの目的とされるものを達成するためには、どうすべきかという事の具体的な行動指針を示したものとされております。

特に、職業奉仕にとって大事な部分が、主文に続く4つの項目の2項目に示されております。読ませていただきますと「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきである」という認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」とあります。ここが、まさしくロータリーが目標とする職業観であり、職業奉仕観であると思えます。

時間の関係もありますので、この2項目を要約いたしますと、「職業奉仕と言うのは、まず天職として自分の職業に対し誇りと自信と責任を持ち、繁盛させるように励みなさい。そして道徳的に向上すれば、その結果が当然に社会を潤すことになる。」これが、職業奉仕の神髄であろうと思えます。

ロータリアンとして誇りを持って、自分の職業、そして職場の皆さんにも、業界の皆さんにも、そして、できれば異業種の皆さんにもこういう精神を啓蒙していただければ社会全体が見違えるように再生するのではないかと思います。



関会長謝辞

大変ご研究なされていて、今日は素晴らしいお話を聞くことができました。されど、我々年齢をおっていきますと、素晴らしい話も右から左へ抜けるものですから、会報委員長に今日のことを取りまとめていただきまして再度文章によって読めるようにしたいと思います。

職業の高揚を私自身も深めて、さらに勝浦ロータリーの運営に真摯に向かいたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。

出席報告 11月18日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	28名	3名	7名	81.58%

欠席：浅野玄航、石井美香子、内田秀実、斎藤義典、高山裕紹、吉野裕子、渡辺保

【今週の一言】

「不安」は、将来起こりうるであろう事実に対して、勝手に妄想する負の心理であり、大体のケースにおいて取り越し苦労のことが多い。